

<b>精神保健福祉のサービス・精神保健福祉論Ⅱ</b>			科目コード	<b>CT3150 CT3134</b>
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
<b>2</b>	<b>R or SR</b> (講義)	<b>2年以上</b>	<b>大橋 雅啓</b>	



※2018年度より担当教員が変更になりましたが、レポート課題等に変更はありません。

2012年度以降入学者→「精神保健福祉のサービス」(科目コード CT3150)

2011年度以前入学者→「精神保健福祉論Ⅱ」(科目コード CT3134)

## 科目の概要

### ■ 科目の内容

基本的には「精神保健福祉論Ⅰ・精神保健福祉の理論」における概念・歴史・現状の理解を前提として、「精神保健福祉論Ⅱ・精神保健福祉のサービス」の学習をすすめます。ここでは精神障害者の医療・保健・福祉にまたがる援助の中で福祉サービスを中心にした援助活動全体を概観します。

### ■ 到達目標

精神保健の法律の成立背景や精神障害者の生活の実際を説明できる。

### ■ 教科書（「精神保健福祉の制度」「精神障害者の生活支援システム」「精神保健福祉論Ⅲ」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー6（第6版）精神保健福祉の制度・サービスと生活支援システム』へるす出版、2017年 第1・3章（改訂新版でも可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。旧版を所持している場合も受講に支障がないよう資料を配付します。

### ■ 「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「社会貢献力」を身につけてほしい。

### ■ 科目評価基準

レポート評価50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験50%

### ■ 参考図書

教科書記載の参考図書も参考にするとよいでしょう。

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

精神障害者への支援の在り方を学びます。当事者を取り巻く環境を考えながら、精神保健福祉の援助や課題について理解を深めることを目指します。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	精神保健福祉法の内容	精神保健福祉法までの歴史の変遷
2	精神保健福祉の流れ	人権・権利擁護
3	精神障害者福祉制度とサービス①	障害者基本法と障害者総合支援法
4	精神障害者福祉制度とサービス②	精神保健医療福祉の課題
5	相談援助の組織・機関・専門職	行政組織と民間組織・インフォーマル
6	精神保健福祉の関連施策①	医療保険制度・介護保険制度
7	精神保健福祉の関連施策②	所得保障
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

### ■講義の進め方

上記講義内容にそって、配付資料も用いながら、講義を進める。

### ■スクーリング 評価基準

スクーリング時に話した内容についての理解を問います。

スクーリング試験90%（持込不可）＋授業への参加状況10%

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書を通読程度に眺めてください。

精神障害者への偏見・差別はなぜ起きるか？ 把握しておいてください。

精神障害の定義を理解しておいてください。

## レポート学習

### ■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	精神保健福祉に関する制度とサービス① (第1章 1-A・B)	精神保健福祉法の意義と内容について学ぶ①	法改正とポイントについて説明できるようにしましょう。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
2	精神保健福祉に関する制度とサービス② (第1章 I-C・D)	精神保健福祉法の意義と内容について学ぶ②	精神保健福祉法の内容、精神保健福祉士の役割について理解することが重要です。
3	精神保健福祉に関する制度とサービス③ (第1章 II-A)	精神障害者福祉制度の概要と福祉サービスについて学ぶ①	障害者基本法の目的・定義・理念と改正のポイントを説明できるようにしましょう。
4	精神保健福祉に関する制度とサービス④ (第1章 II-B)	精神障害者福祉制度の概要と福祉サービスについて学ぶ②	障害者総合支援法の成立の背景を説明できるようにしましょう。
5	精神保健福祉に関する制度とサービス⑤ (第1章 II-C)	精神障害者福祉制度の概要と福祉サービスについて学ぶ③	障害者総合支援法におけるサービスの概要について理解しましょう。
6	精神保健福祉に関する制度とサービス⑥ (第1章 II-D)	精神障害者福祉制度の概要と福祉サービスについて学ぶ④	障害者福祉施策における精神障害者保健福祉施策の変遷、および今後の精神保健医療福祉の課題と要検討事項について理解しましょう。
7	精神保健福祉に関する制度とサービス⑦ (第1章 III-A)	精神保健福祉にかかわる組織と専門職について学ぶ①	保健福祉行政の基本、および特徴について理解しましょう。
8	精神保健福祉に関する制度とサービス⑧ (第1章 III-B・C)	精神保健福祉にかかわる組織と専門職について学ぶ②	精神保健福祉に関する国、および都道府県・政令指定都市のサービスの目的・意義を把握しましょう。
9	精神保健福祉に関する制度とサービス⑨ (第1章 III-D～H)	精神保健福祉にかかわる組織と専門職について学ぶ③	精神保健福祉に関する精神保健福祉センター・保健所・市町村および民間組織のそれぞれの役割を把握しましょう。
10	精神保健福祉の関連施策① (第3章 I-A・B)	医療保険制度について学ぶ①	医療保険制度と健康保険の概要について説明できるようにしましょう。
11	精神保健福祉の関連施策② (第3章 I-C)	医療保険制度について学ぶ②	医療保険の主な給付の種類について理解しましょう。
12	精神保健福祉の関連施策③ (第3章 II)	介護保険制度について学ぶ	介護保険制度の目的、特徴を理解し、地域生活支援のサービス内容について説明できるようにしましょう。
13	精神保健福祉の関連施策④ (第3章 III-A)	所得保障について学ぶ①	経済的支援に必要な社会保険、社会手当、公的扶助の内容について説明できるようにしましょう。
14	精神保健福祉の関連施策⑤ (第3章 III-B～D)	所得保障について学ぶ②	障害年金制度と公的扶助の内容について説明できるようにしましょう。
15	精神保健福祉の関連施策⑥ (第3章 IV-A・B)	経済負担の軽減について学ぶ	精神障害者が受けられるサービスと、税法上、公共料金等に関する負担軽減について説明できるようにしましょう。

## ■レポート課題

※課題は1,900字以上で記述してください（ワープロ・パソコン印字での提出が可能になりました）。

1 単位め	精神保健福祉法の概要を説明し、精神科医療の特徴をふまえた入院形態についても述べてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可
2 単位め	障害者総合支援法におけるサービスの概要を説明し、障害者の望む暮らしに大切なものを述べてください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

- ① 教科書を熟読し、内容を深く理解することに努めてください。また、必要に応じ、教科書記載の参考書を読むことにより一層の理解につながります。
- ② 教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することに努めてください。
- ③ 引用・参考文献は教科書も含めて3つ以上はレポートに出典明示するようにお願いします。

1 単位め  
アドバイス

テキスト1章を読み、関連図書なども参考にしてください。精神保健福祉法の意義と内容を理解し、精神保健福祉士の役割についても考え、自分の言葉で述べるのが大切です。

2 単位め  
アドバイス

テキスト1・3章を熟読してください。そのうえで実際場面を想定し、それと関連付けて述べるのが求められています。テキストにあげられている参考文献も利用するとよいでしょう。

## レポート作成の留意点

- (1) テキストを熟読してください。
- (2) 引用文章だけでレポートを作成するのではなく、自分自身の言葉でまとめましょう。内容を理解できれば可能なことです。
- (3) 何回か推敲してから、レポート用紙に書くようにしましょう。そうすれば、繰り返しが少なくなり、論理的になるでしょう。限られた紙数を有効に使いましょう。
- (4) 段落をきちんとつけて、論理的に構成されたレポートを作成しましょう。

## 科目修了試験

## ■評価基準

『レポート課題集』本科目全体の内容についての理解を問います。

問題の題意に適しているかどうかを問います。

解答字数は、800字以上を基準といたします。